

## I 実践

### 1 朝のあいさつ運動

#### (1) 取り組み

本校では、朝のあいさつ運動を生徒会活動の一つとして取り組んでいる。登校時のあいさつを進んで行うことで、人と人との心を通わせ、よりよい人間関係を築き上げようという運動である。

この活動には、生活委員会や学級役員、さらには部活動の部員等がボランティアとして積極的に参加し、年間を通して継続して行っている。

#### (2) 成果

日々の実践を継続することで、あいさつが習慣化され、校内では多くの生徒が進んであいさつをするようになってきている。地域の方や来校者からお褒めの言葉をいただくこともある。一方、声が小さい生徒や、教師から声をかけてもあいさつや返事ができない生徒もまだ見られる。あいさつは心と心を結び付ける大切なものであることを、理解させるために今後も継続して指導していく。

### 2 街の清掃活動

#### (1) 取り組み

本校では定期的に、学級ごとに常陸多賀駅前よかっぺ通りのゴミ拾いを実施している。学級ごとに活動することで、互いに協力することの大切さを実感させるとともに、ボランティア精神を養うことを目的としている。活動に際しては、自分が住む地域への感謝の気持ちをもって活動できるよう、事前指導を行っている。また、生徒と教師が協働することで、一体感や達成感を共有し、学級の絆づくりや団結力の向上を図っている。

今年度は、感染症対策のため規模を縮小し、学校周辺のごみ拾いを実施した。



#### (2) 成果

今年度は3学年のみではあったが、どの学級も自主的に行動し、共に働く喜びや達成感を感じることができた。また、地域への愛着を深めることもできた。数年前、地域のよかっぺ祭り（例年9月上旬実施）翌日に実施した学年が、たいへんきれいに清掃したことを地域の方から褒められ、生徒の自信につながった。それ以降毎年、よかっぺ祭り翌日に実施してきたが、今年度もよかっぺ祭りが行われず、休校期間でもあったためこの時期には実施しなかった。

### 3 人権メッセージ・人権作文

#### (1) 取り組み

本校では、夏休みの課題として、人権メッセージを1年生、人権作文を2年生で実施している。前年度の優秀作品を紹介するなど、夏休み前に事前指導を行い、人権滋養を図った。

#### (2) 成果

「軽率な言動が実は他人の人権を侵害していることに気づいた。」「これからは他人をもっと思いやる。」など、人権に関する意識が高まるとともに、国内外のさまざまな人権問題についての理解が深まった。

### 4 職員研修

#### (1) 取り組み

職員の人権に関する理解を高めるために、夏休みに「人権研修」として、人権問題啓発映画「ホーム」の視聴を行った。

#### (2) 成果

ドラマを観た後、差別意識の解消のために大切なことは何かについて、話し合う時間を設けた。「差別についてよく知ること」「自分が当事者になったつもりで考える」「自分の物差しでみない」「自分にとっての普通を相手におしつけない」など、差別や偏見等の問題は、決して他人事ではなく、身近な問題として考えることが、様々な差別問題の解消につながることを再認識することができた。

## II 今後の課題

本校の人権教育の目標は、「生徒一人一人に、人権に関する課題に対しての正しい知識と理解を深め、人権尊重の精神を高め、誰もが生きがいのある学校生活を送ることができるようにする。」である。

今年度も道徳・総合的な学習の時間・学校行事を関連させ人権教育に取り組んできた。各教科では、社会科で具体的に人権問題について学習しているが、その他の教科でもさらに人権について学習できる単元や題材があると思われる。今後は、教科間で連携し、教育活動全体を通して人権教育を推進していきたい。また、人権教育に関する職員研修の時間を確保することにより、全職員共通理解の下、さらに効果的な指導を行うこととする。

## III 人権コーナーの設置の様子

